

## 移注セット

\*\* (マイクロット配合静注用2.5mL・5mL・10mL専用)

### 再使用禁止

#### 【禁忌・禁止】

1. 使用方法  
1) 再使用禁止

#### 【形状・構造及び原理等】

本品は以下の構成品を組合せたものである。  
本品は医薬品（外皮用殺菌消毒剤）を組合せている。

#### 構成品

- ・翼付針（セーフタッチP S Vセット）
- ・溶解液注入針（溶解液注入針）
- ・注射筒（ニプロシリンジ（針なし））
- ・絆創膏（未滅菌：ファストエイド）
- ・絆創膏（滅菌済：リパビタール）
- ・アルコール綿（医薬品：スワブM・NW70）
- ・廃棄用ビニール袋

#### 【使用目的又は効果】

本品は、用時溶解剤を投与する際に必要な医療機器等を利便性のために組合せたキットである。

#### 【使用方法等】

1. 本品を開封します。
2. 含まれる構成品を、適切な方法で展開します。
3. 展開した構成品の種類、数量が内箱に表示されている内容と相違ないか確認します。
4. 本品に含まれていない必要な製剤（医薬品）を準備します。
5. 手を石鹸でよく洗ってから使用します。各構成品はそれぞれの使用方法、効能・効果の範囲にて使用します。
6. 使用後は感染防止に留意して廃棄用ビニール袋に入れます。詳しい処分方法は、医療機関にお尋ねください。

#### <使用方法等に関連する使用上の注意>

1. 翼付針及び溶解液注入針の針先、注射筒の先、薬剤瓶や溶解液瓶のゴム栓部分には直接触れないでください。
2. 誤って手指等に翼付針や溶解液注入針を刺さないよう取扱いは十分注意してください。
3. 接続部に薬液を付着させないでください。〔接続後の緩み等のおそれがあります。〕
4. 注射筒に翼付針のコネクタを接続する際は、確実に接続されていることを確認して使用してください。
5. 注射筒の押子は真っ直ぐに引いてください。〔斜めに引くと、ガスケットと外筒との密着性が悪くなり、液漏れや空気混入、又はガスケット外れのおそれがあります。〕
6. 注射筒の外筒印刷部の目盛を超えて押子を引かないでください。〔押子が外筒から抜けて液漏れや空気混入のおそれがあります。〕
7. 翼付針のプロテクタを外す際は、針先がプロテクタに触れないよう注意してください。〔針先変形のおそれがあります。針先が変形した場合は、本品を新しいものと交換してください。〕
8. プライミング時に接続部からの液漏れ等の異常が認められた場合は、使用しないでください。
9. 翼付針はリキャップしないでください。〔リキャップ自体に誤穿刺のおそれがあり、また、誤って斜めにリキャップすることで、針先がプロテクタを貫通するおそれがあります。〕
10. 薬液中に異物や不溶解物が確認された場合は使用しないでください。

#### 【使用上の注意】

##### 1. 重要な基本的注意

- 1) 本品は、清潔な場所で使用すること。
- 2) 本品を使用する際は、使用方法に関して必ず医師の指導を受けてから使用すること。
- 3) 構成品の包装を開封したら直ちに使用すること。
- 4) 使用中は本品の破損、接続部の緩み、空気混入、薬液漏れ及び詰まり等について、十分注意すること。
- 5) 注射筒の外筒を強く握る等、圧迫するような負荷をかけること。〔圧迫によりガスケットと外筒との密着性が悪くなり、液漏れや空気混入のおそれがある。〕
- 6) 注射筒に翼付針のコネクタを接続する際は、筒先に横方向の力をかけないこと。〔筒先の湾曲や破損等のおそれがある。〕
- 7) 注射筒に翼付針のコネクタを接続する際は、過度な締め付けをしないこと。〔コネクタが外れなくなる、又はコネクタが破損し、接続部からの液漏れや空気混入のおそれがある。〕
- 8) 翼付針のチューブ等が身体の下等に挟まれないよう注意すること。〔チューブ等の折れ、閉塞、破損等のおそれがある。〕
- 9) 翼付針のチューブとコネクタとの接合部には過度に引っ張る、押し込む、折り曲げるような負荷をかけること。〔チューブの抜け、破損、伸び等のおそれがある。〕
- 10) 翼付針の針管に過度な負荷をかけること。〔針管部分の曲がりや破断、針基の破損のおそれがある。〕
- 11) プライミング後は直ちに薬液を投与すること。〔薬液汚染のおそれがある。〕
- 12) 翼付針の固定には未滅菌の絆創膏を使用し、処置後の止血には滅菌済の絆創膏を使用すること。
- 13) 翼付針及び注射筒は合成樹脂製品のため、温度が低下するにつれて強度が低下することから取扱いには注意すること。〔破損のおそれがある。〕
- 14) 本品を落としたり、衝撃を与えると破損のおそれがあるので、取扱いには十分注意すること。

##### 2. 不具合・有害事象

- 1) その他の不具合  
(1) 液漏れ (2) 誤穿刺
- 2) その他の有害事象  
(1) 血管損傷

#### 【保管方法及び有効期間等】

##### 1. 保管方法

水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

##### 2. 有効期間

包装の使用期限欄を参照のこと。

有効期間：製造後3年6ヶ月〔自己認証（自社データ）による〕

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

\*製造販売（お問い合わせ先）

ニプロ株式会社

フリーダイヤル：0120-226-069

受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

製造  
ニプロ医工株式会社

取扱説明書を必ずご参照ください。



ニプロ株式会社